

ウクライナから単身来日

ロシアの侵略により、6月にウクライナから日本に避難してきた男子高校生、パーコムチュク・オリクシーさん(17)の私立興国高校(大阪市天王寺区)への入学が実現した。同月末に歓迎セレモニーが同校で行われた。



パーコムチュクさんは、2月の侵略後、首都キーウ(キエフ)でロシア軍の激しい攻撃におびえる日々が続いたという。爆撃で赤く染まる空、耳をつんざく轟音、街中に漂う焦げた煙の臭い……。眠れない夜が続き、父親だけを母国に残し、3月に母親、姉妹と隣国ポーランドに逃れた。

幼少期から日本のアニメや音楽が好きだった。避難先で、日本で留学生を受け入れている「ウクライナ学生支援会」(大阪市)の存在を知り、単身での来日を

英語であいさつするパーコムチュクさん(左、大阪市で)

17歳 興国高へ 「母国に平和 一日も早く」

決意し、興国高校での受け入れが決まった。

セレモニーの中で、草島葉子校長は「自宅を破壊されるなど、数か月間にわたる緊張を経て、自ら生きる道を選んで日本にやってきた」と経緯を説明。パーコムチュクさんは得意の英語で、「アニメが好きで日本には関心があった。将来のことはまだ考えられないが、様々なことに挑戦したい」とあいさつした。

来日後、大阪城で撮影した写真をSNSで家族に送ると、ウクライナで暮らす父親も安心してくれたという。取材に対し、「日本の方々はみんなフレンドリーで、生活には何の不安もない。ウクライナに一日も早く平和が戻ってほしい」と答えた。

同校での授業に加え、今後、専修学校で日本語も学んでいく方針という。